

到達目標における項目の設定例

自施設の特徴を踏まえて、各施設が設定する

A病院

B病院(平成16年版到達目標と同じ項目で設定)

C病院

活動休息援助技術	活動休息援助技術	活動休息援助技術
①歩行介助・移動の介助・移送 ②体位変換 ③入眠・睡眠への援助	①歩行介助・移動の介助・移送 ②体位変換 ③関節可動域訓練・廃用性症候群予防 ④入眠・睡眠への援助 ⑤体動、移動に注意が必要な患者への援助	①歩行介助 ②車椅子による移送 ③ストレッチャーの移送 ④体位変換 ⑤関節可動域訓練・廃用性症候群予防 ⑥入眠・睡眠への援助 ⑦体動、移動に注意が必要な患者への援助 ⑧プレイルームでの遊びの援助

6

詳細さの設定例:「車椅子による移送」

パターンⅠ

パターンⅡ

パターンⅢ

車椅子による移送	車椅子による移送	車椅子による移送
	1. 車椅子の準備ができる 2. ボディメカニクスの原理・原則を述べるができる 3. 患者の状況や状態に応じた移乗ができる 4. 羞恥心に配慮した対応ができる 5. 危険の回避が出来、安全に対する留意事項がわかる	1. 車椅子の構造や使用方法を述べるができる 2. 患者の状況に応じた必要物品が準備出来る(酸素ボンベ・点滴スタンド・廃液バックカバーなど) 3. ボディメカニクスの原理・原則を述べるができる 4. 患者に車椅子移乗と行き先を説明できる 5. 患者の身支度を整えることができる 6. 羞恥心に配慮した対応ができる 7. 車椅子や必要物品の準備ができる(車椅子を20~30度の角度で置き、フットレストを上げ、ブレーキをかける) 8. 患者の状態やルート類などに注意して移乗できる 9. 移乗後、患者の状態を観察し、点滴ルート、酸素などの確認行動ができる 10. 患者へ声かけを行いながら、移送介助ができる 11. 段差や傾斜時の対応ができる 12. 移送介助後の患者の観察ができる

7